

# ふれあい情報 速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)  
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛  
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11  
 Tel: 03-5295-0507 Fax: 03-5295-0541  
 <e-mail> taisyokusharengo@sv.rengo-net.or.jp  
 <ホームページ> <http://tr.jtuc-rengo.jp>

2014年6月24日(火) **第184号**

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

## 国際労働運動も核兵器 廃絶へ起ちあがる。

### ●連合が取り組む理由は？

「世界が核兵器の脅威にさらされている今こそ、世界で唯一の被爆国のナショナルセンターとして核兵器廃絶に向けた1000万署名運動成功のために先頭に立って取り組んでいく必要があるからです。」

### ●どのような取り組みですか？

「5年に一度、来年2015年にニューヨークの国連本部で核兵器不拡散条約(NPT)の再検討会議が開始されます。これは世界の核軍縮に向けて最大の重みを持つ会議です。核兵器保有国がさらに核兵器の削減ができるように合意形成に向けて世論喚起していきます。」

## 連合・山根木総合組織局長に聞く

連合、原水禁、KAKKINの3団体は、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて一〇〇〇万署名運動をスタートさせました。退職者連合は五月二十日に開いた第五回幹事会でこの署名運動に協力することを決めました。なぜ今、核兵器廃絶を訴え、署名運動に取り組むのか。平和運動を先頭で取り組む連合本部の山根木総合組織局長に聞きました。

(聞き手 退職者連合 林道寛事務局長次長)



山根木晴久 (やまねき・はるひさ)

連合総合組織局長。1962年生まれ、和歌山県出身。損保労連中央執行委員長を経て2003年から連合に。企画局長、非正規センター総合局長などを経て2013年から現職、組織拡大と連帯活動を担当。

世界の  
核兵器数  
1万7,300発

## 「核兵器廃絶1000万署名」

世界で唯一の被爆国民である私たちの願いを日本政府と国連に届けたい。ナショナルセンターである連合が先頭に立つ必要があります。

### ●具体的には？

「NPT再検討会議が今年の4月12日に広島市で開催されたことに合わせて、声をあげようと4月14日に広島で連合、原水禁、KAKKINの3団体が連携してNPT再検討会議に向けたプレ・イベント集会をやりました。1000万署名のキックオフです」

### ●ねらいは何ですか？

「3年前から3団体で核兵器保有国への要請行動を行ってきました。内容は、2010年の再検討会議で最終文書が採択された。その履行を求めるもの。その流れの中での2015年の再検討会議なので、2010年よりも一層、前進するようなものにしていきたい」

### ●国際労働運動では、どのような動きが？

「5月にドイツのベルリンで国際労働組合総連合(ITUC)の世界大会が開かれました。連合の古賀会長が大会で発言し、ITUCに集う世界の仲間に向けて核兵器廃絶の運動に参加するよう呼びかけました。その結果、大会で核兵器廃絶に向けた決議が採択されました。またITUCとして1000万署名の取り組みへの協力(ウェブサイトでのキャンペーン)も決まりました」

(次ページへ続く)

た。また会場内では、被爆パネルの展示や語り部の上映などが行われました」

### ●今後に向けては？

「連合はこれまで沖縄、広島・長崎、北方領土と4つの平和運動に取り組んできました。来年は、どのテーマでも70年となります。

2015年に向けて2014年をどう取り組むか。節目をつけたいですね。とくに核兵器廃絶では、来年は被爆70年。連合は、原水禁やKAKKIN、ITUCをはじめ、さまざまなNGO・NPOとも連携して核兵器廃絶運動のウイングを広げていきたいですね。」

## 退職者連合

### 署名の方法はこのように

#### 1. 基本は、産別退職者組織を軸に

(1) 中央退職者組織(タテ)を軸に取り組む。地方退職者連合(ヨコ)は中央未加盟退職者組織を対象に署名に取り組む。

(2) ただし、広島と長崎はヨコの取り組みとする。理由は、被爆地として独自に取り組むため。広退連と長退連は、連合広島・連合長崎と連携を行う。

(3) 各組織は、登録会員数の2倍以上の署名集約をめざす。

(4) 家族、友人・知人などできるだけ多くの方に署名への協力をお願いする。

#### 2. 署名の集約期日

- (1) 第1次集約 2014年9月30日(火)  
 (2) 第2次集約 2015年1月30日(金)

#### 3. 署名方法

- (1) 配信した署名用紙(5名連記)のデータを各組織で印刷して、会員に配布する。  
 (2) 署名用紙には、余白を残さずに詰めて名前を記入する。  
 (3) 同じ住所の場合でもきちんと記入し、(々)や(〃)を使って略さない。  
 (4) 代理記入も可。

#### 4. 集約について

- (1) 印刷する際、署名用紙(下欄)の枠内に取り扱い退職者組織名を必ず入れること。  
 (2) 各組織(本部・支部・単会など)で集約した封筒・箱の表には、必ず署名数を明記する

## 退職者連合の署名目標

## 一五〇万筆!



### 核兵器廃絶1000万署名

No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More Nuclear Weapons!

ノーマ・ヒロシマ、ノーマ・ナガサキ、ノーマ・ヒロシマ。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う被爆地・日本国民の心からの叫びです。しかし、核兵器は未だに世界に約17,000発も存在し、核兵器の脅威から今なお人類は解放されていません。  
 核兵器不拡散条約(NPT)とは、核兵器の開発、製造、保有を規制し、核兵器保有国の増加を防ぐことを主な目的とした条約であり、核兵器の不拡散、核軍縮の促進、原子力の平和利用の推進をめざしています。  
 連合・原水禁・KAKKINは、5年に1度開催されるNPT再検討会議にあわせて、核兵器廃絶を求める署名活動を行い、世界で唯一の核保有国である私たちの願いを、日本政府と国連に届けます。  
 核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざして、「核兵器廃絶1000万署名」への協力をお願いします。

連合・原水禁・KAKKIN

「核兵器廃絶1000万署名」については  
<http://www.jtuc-rengo.or.jp/> 連合

家族や友人、知人のみなさんに広くよびかけ、運動の輪を広げましょう!

こと。

(3) 最終的に集約した署名は、退職者連合本部宛にお送りください。退職者連合で確認後、連合に送付します。

#### 5. NPT再検討会議について

「ミニ解説」をご利用ください。

#### 6. 退職者連合のホームページ

署名用紙、実施要領、ミニ解説、リーフレットなど、必要なデータをダウンロードできますので、ご利用ください。

### HP(ホームページ)URL

<http://tr.jtuc-rengo.jp>

(署名送り先) 退職者連合

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台

3-2-11 連合会館3階

TEL03-5295-0507 FAX03-5295-0541

送付する際は必ず署名数の明記を